



## 2018年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年7月28日

上場会社名 SCSK株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9719 URL http://www.scsk.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員(氏名)谷原 徹  
 問合せ先責任者 (役職名)主計部長 (氏名)松永 和幸 (TEL) 03(5166)2500  
 四半期報告書提出予定日 2017年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2018年3月期第1四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	77,219	2.5	3,889	△36.5	4,455	△33.8	2,844	△61.0
2017年3月期第1四半期	75,352	1.8	6,124	12.6	6,732	15.5	7,296	66.0

(注) 包括利益 2018年3月期第1四半期 3,025百万円(△57.0%) 2017年3月期第1四半期 7,035百万円(61.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第1四半期	27.40	27.38
2017年3月期第1四半期	70.30	70.11

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第1四半期	364,645	171,695	45.2
2017年3月期	389,537	173,674	42.8

(参考) 自己資本 2018年3月期第1四半期 164,834百万円 2017年3月期 166,897百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	42.50	—	47.50	90.00
2018年3月期	—	—	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	47.50	—	47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	160,000	1.6	15,000	1.9	15,500	△1.8	10,000	△24.7	96.33
通期	340,000	3.2	36,000	6.8	37,000	2.4	24,500	△13.9	236.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期1Q	107,986,403株	2017年3月期	107,986,403株
② 期末自己株式数	2018年3月期1Q	4,173,927株	2017年3月期	4,177,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期1Q	103,810,013株	2017年3月期1Q	103,799,697株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2017年7月28日に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催いたします。この説明会で配布した資料、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済対策や日本銀行による金融緩和策・金利政策を背景に、昨年度来の回復基調が続いていたものと考えられます。

具体的には、生産活動や輸出が持ち直すなか、企業収益並びに企業の業況判断は改善しており、また、雇用情勢の改善もあり、景気は総じて回復基調にあったものと判断しております。

景気の先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が継続するものと期待されます。ただし、米国政権の政策運営をはじめとして、中東・東アジア地域における地政学上のリスク、英国のEU離脱問題やアジア他の新興国・資源国における景気下振れ懸念、さらには、金融資本市場の変動リスク等、世界の政治経済情勢における先行き不透明感が拭いきれない状況が続いており、今後も企業経営における景気動向判断については慎重さが必要であると考えております。

このような経済環境の下、ITサービス市場におきましては、働き方改革への取り組みを含む、顧客企業の生産性向上や効率化を目的としたシステム更新投資需要が堅調でありました。

また、戦略的事業の強化や競争優位性の確保といった、いわゆる戦略的IT投資需要も高まってきており、一般的にIT投資需要は増加基調にあったものと考えられます。

具体的には、製造業企業において、本格的な普及期を迎えるIoTへの対応や戦略的なグローバル化対応、さらには、より高度化する製品開発時の製品検証や製品サービスに対するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービス等、ディールフローが堅調に推移しております。

また、流通業・サービス業他の、コンシューマービジネスを手掛ける顧客企業を中心に、デジタルマーケティング強化・オムニチャネル化に向けてのEC・CRM領域やビッグデータ分析関連の投資等、戦略的なIT投資及びITサービス需要が増加基調にあります。

さらには、金融機関において、銀行業や保険業等を中心に、競争力強化を目的とする、例えばFinTech・AI等の新しいIT技術の活用や決済システム高度化に向けた対応等、システム開発を中心にIT投資需要は堅調に増加しております。

加えて、顧客企業経営層の業務効率向上に対しての強い意欲、顧客企業のIT人材不足を背景に、IaaS・PaaS他のITインフラ領域での各種クラウド型ITサービスへの需要、そして、まだ一部ではありますが、業務システム領域での各種ITサービス需要が増加基調にあったものと考えております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、流通業及び通信業向けにおけるシステム開発や保守運用・サービス、並びにシステム販売が増加したこと等により、前年同期比2.5%増の77,219百万円となりました。

営業利益は、増収に伴う利益増はあるものの、期初より想定、戦略事業・サービス提供型ビジネスへの事業投資費用の増加やマーケティング費用の増加、及び、各種案件の反動減に加えて、第2四半期以降に回収を想定する新規システム開発案件における先行費用の計上や一部の不採算案件等の影響により、前年同期比36.5%減の3,889百万円となりました。

経常利益は、営業利益の減少等により、前年同期比33.8%減の4,455百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、期初より想定の前年同期に計上した会計基準変更に伴う税効果の反動減影響もあり、前年同期比61.0%減の2,844百万円となりました。

当社グループは、2016年3月期よりスタートしました5年間を計画期間とする中期経営計画の目標達成に向けて、「サービス提供型ビジネスへのシフト」、「時代の変化を捉えた戦略的事業の推進」、そして「グローバル事業の第2ステージへの展開」の3つの基本戦略を現在積極的に推進しております。

当期は、これらの基本戦略に係る事業推進を相応の事業投資を行った上で着実に進めるとともに、さらなる業務品質の追求や生産性の向上をはじめとする各種経営基盤・収益力強化に向けての取り組みに注力してまいります。足元の堅調なIT投資需要を確実に取り込むことで収益力を維持・拡大するとともに、システム開発事業はもとより保守運用・サービス事業、そしてシステム販売事業の全事業において生産性・業務品質の向上に努め、収益基盤をさらに拡充してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ18,125百万円減少し、105,809百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は9,212百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益4,446百万円、減価償却費2,390百万円、売上債権の減少による資金の増加14,663百万円によるものであります。主な減少要因は、仕入債務の減少による資金の減少4,133百万円、たな卸資産の増加による資金の減少3,524百万円、差入保証金の増加による資金の減少4,846百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は2,077百万円となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による資金の減少927百万円、無形固定資産の取得による資金の減少852百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は25,187百万円となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による資金の減少10,000百万円、社債の償還による資金の減少10,000百万円、2017年3月期期末配当金(1株当たり47.5円)4,941百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績に大きな影響を与えた特定の新規システム開発案件における先行費用の計上につきましては、第2四半期以降において当該費用の回収を想定しております。また、四半期業績への同案件の影響を除くと、当第1四半期の業績は概ね当社期初予想の範囲内でありました。

従いまして、2017年4月28日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

※当社グループの四半期業績の特性について

わが国では、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。このため、請負契約を除く売上高計上基準として、主として「検収基準」を採用している当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2・4四半期に集中する傾向があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,363	20,704
受取手形及び売掛金	65,764	51,098
営業投資有価証券	6,056	4,957
商品及び製品	6,779	9,788
仕掛品	341	857
原材料及び貯蔵品	50	50
預け金	98,171	86,705
差入保証金	45,359	50,204
その他	22,466	24,624
貸倒引当金	△47	△33
流動資産合計	272,306	248,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,863	34,454
土地	19,821	19,821
その他（純額）	13,862	13,878
有形固定資産合計	68,546	68,154
無形固定資産		
のれん	133	116
その他	11,691	11,467
無形固定資産合計	11,825	11,584
投資その他の資産		
投資有価証券	9,564	10,129
その他	27,417	25,944
貸倒引当金	△124	△124
投資その他の資産合計	36,857	35,949
固定資産合計	117,230	115,688
資産合計	389,537	364,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,362	17,233
短期借入金	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	15,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	10,000	—
未払法人税等	2,262	357
賞与引当金	6,418	1,917
役員賞与引当金	195	15
工事損失引当金	50	263
カード預り金	91,828	92,666
その他	26,802	33,701
流動負債合計	183,919	161,155
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,000	5,000
役員退職慰労引当金	20	20
退職給付に係る負債	2,359	2,131
資産除去債務	2,278	2,363
その他	2,284	2,278
固定負債合計	31,943	31,794
負債合計	215,862	192,950
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,152	21,152
資本剰余金	3,047	3,047
利益剰余金	151,722	149,625
自己株式	△8,425	△8,421
株主資本合計	167,497	165,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,308	2,451
繰延ヘッジ損益	△5	1
為替換算調整勘定	△73	△153
退職給付に係る調整累計額	△2,829	△2,868
その他の包括利益累計額合計	△599	△568
新株予約権	70	70
非支配株主持分	6,706	6,790
純資産合計	173,674	171,695
負債純資産合計	389,537	364,645

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
売上高	75,352	77,219
売上原価	57,141	60,395
売上総利益	18,211	16,824
販売費及び一般管理費	12,086	12,934
営業利益	6,124	3,889
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	31	39
持分法による投資利益	133	133
カード退蔵益	361	391
その他	121	48
営業外収益合計	668	629
営業外費用		
支払利息	41	36
投資有価証券売却損	—	0
その他	19	27
営業外費用合計	61	63
経常利益	6,732	4,455
特別利益		
固定資産売却益	11	0
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	14	0
特別損失		
固定資産除却損	2	6
固定資産売却損	1	2
特別損失合計	3	9
税金等調整前四半期純利益	6,743	4,446
法人税、住民税及び事業税	134	124
法人税等調整額	△861	1,328
法人税等合計	△726	1,453
四半期純利益	7,469	2,993
非支配株主に帰属する四半期純利益	173	148
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,296	2,844



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
四半期純利益	7,469	2,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	147
繰延ヘッジ損益	△52	6
為替換算調整勘定	△336	△79
退職給付に係る調整額	40	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	0
その他の包括利益合計	△434	32
四半期包括利益	7,035	3,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,849	2,874
非支配株主に係る四半期包括利益	186	150

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,743	4,446
減価償却費	2,095	2,390
のれん償却額	26	17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△14
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,090	△228
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	0	△0
固定資産除却損	2	6
固定資産売却損益(△は益)	△10	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	0
持分法による投資損益(△は益)	△133	△133
受取利息及び受取配当金	△52	△56
支払利息及び社債利息	41	36
投資事業組合運用損益(△は益)	△0	△14
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	974	1,077
売上債権の増減額(△は増加)	10,983	14,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,173	△3,524
差入保証金の増減額(△は増加)	△3,996	△4,846
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,067	△4,133
カード預り金の増減額(△は減少)	1,316	837
その他	△1,201	△443
小計	8,453	10,084
利息及び配当金の受取額	135	142
利息の支払額	△55	△60
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,880	△952
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,651	9,212

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	700	—
有形固定資産の取得による支出	△2,090	△927
有形固定資産の売却による収入	982	2
無形固定資産の取得による支出	△779	△852
投資有価証券の取得による支出	△0	△300
投資有価証券の売却及び償還による収入	35	26
短期貸付金の回収による収入	1	1
投資事業組合出資金の払戻による収入	4	—
敷金及び保証金の差入による支出	△40	△149
敷金及び保証金の回収による収入	86	138
その他	△148	△17
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,247</b>	<b>△2,077</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△10,000
社債の償還による支出	—	△10,000
リース債務の返済による支出	△198	△175
自己株式の取得による支出	△2	△4
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△4,160	△4,941
非支配株主への配当金の支払額	△70	△66
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,430</b>	<b>△25,187</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△258</b>	<b>△73</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△284	△18,125
現金及び現金同等物の期首残高	98,445	123,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	98,160	105,809

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	製造システム	通信システム	流通システム	金融システム	ソリューション	ビジネス サービス	プラット フォーム ソリューション	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	9,530	6,306	10,894	16,976	5,795	10,145	14,685	826
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	976	211	1,803	184	704	562	1,500	0
計	10,507	6,518	12,698	17,160	6,499	10,707	16,185	827
セグメント利益 又は損失(△)	835	1,018	1,328	1,925	214	567	624	111

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	192	75,352	—	75,352
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	683	6,626	△6,626	—
計	875	81,979	△6,626	75,352
セグメント利益 又は損失(△)	△9	6,616	△491	6,124

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△491百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	製造システム	通信システム	流通システム	金融システム	ソリューション	ビジネス サービス	プラット フォーム ソリューション	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	9,265	6,403	11,098	16,778	6,053	10,418	16,112	898
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	727	255	3,257	352	1,025	482	1,337	0
計	9,992	6,659	14,356	17,130	7,078	10,900	17,450	899
セグメント利益 又は損失(△)	318	990	940	583	61	393	1,018	101

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	190	77,219	—	77,219
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	800	8,239	△8,239	—
計	991	85,459	△8,239	77,219
セグメント利益 又は損失(△)	△19	4,388	△498	3,889

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△498百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より社内組織の一部を見直したことに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額を表示しております。